

百合樹



ユリノキ

本校が明治36年、大森に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

PTA会長あいさつ

「感謝をこめて」

石原 千郷



平成二十八年の新春を迎えてはや二ヶ月が過ぎ、とうとう三年生の卒業式を迎えます。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。保護者の皆さん、三年間の月日を一言では言い表せませんが、まずは御喜び申し上げます。そして、三年の月日を見守り、指導して頂きました先生方に御礼申し上げます。

私も卒業生の保護者ですので、これで邇摩高校ともお別れになりますが、二年間の会長を務めさせて頂き、一言御詫ごとと御礼のご挨拶を申し上げます。

二年間の任期の間、多種多様な講習会・研修会に参加させて頂きましたが、私が常々感じていたことは『保護者が知らない重要な情報が沢山あり、これをどの様に伝えたら良いのか、又、伝えても良いのか悪いのか、邇摩高校の先生でもないのに勝手なことでも出来ないし・・・でも、先生方は知らないのか？』正直悩みました。相談に乗っていただいた校長先生には『何でも食い付いて来る会長だな』って思われた事でしょう。全ての悩みが解決される事は有りませんが、でも、私にとつて邇摩高校の先生方は相談に乗っていただける優しい先生が多く、気軽に聞ける事ができ、有り難く感謝しています。しかし、一部の先生には嫌な思いをされたことと思います。申し訳ありませんでした。また、評議員会でも大事な事を伝え切れなくて、紛らわ



しい遠回りな説明をしたため、評議員会（PTA総会も同様）に対して不快感を持たれた方もおられた事でしょう、分かり難くて申し訳ありませんでした。でも今後の邇摩高校の発展の為、これに懲りず保護者の話し合いが持てる場にて、活発なご意見を頂けます様お願い致します。

それから、文化祭では皆さんよりフリーマーケット出品物の提供をいただき、有難うございました。お陰で昨年は地域の皆さんが宣伝及び口利きの効果で、購入目的で来校されるまでになりました。継続は力なりです。今年も出来れば保護者主体でフリーマーケットだけではなく、邇摩高校を盛り上げてもらえる模範店を開催して頂けます様お願い致します。個人的ですが、昨年・今年と文化祭でお手伝い頂きました保護者の皆さん、個人的な出品（例えば・焼き鳥など）でしたが、快くお手伝いして頂きましたこと、本当に感謝しています、有難うございました。

最後になりましたが、今後の邇摩高校の発展を祈願いたしております。
ランニングマン石原より感謝をこめて

校長あいさつ

「地域活性化につながる力を」

山岡 雄一郎



平素より保護者の皆様方には本校の教育活動に対して、ご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

三年生はいよいよ卒業です。日々、お子様

を支えてこられた保護者の皆様の感慨はひとしおであろうと推察いたします。卒業生の皆さんには、体験活動を重視した、総合学科ならではの学びを通して身に付けた力を十分に発揮して、様々な場面で活躍されることを期待します。

今の三年生は、「総合的な学習の時間」を世界遺産・石見銀山にちなみ「銀の哲学」と名づけ、「地域を知り、地域に学ぶ」を motto に、様々な学習に取り組んできました。地域講師の講演、石見銀山ガイドの会の和上豊子さん、かわむら牧場の川村拓郎さん、神楽面職人の小林泰三さん、小川商店の小川知興さんに、人生の岐路、地域にかける思い、決断と実行など、それぞれに熱く語っていただきました。これから地域へ飛び出していく生徒たちには、大きな激励となりました。昨年からはじめた年三回の「邇摩高フェア」。「銀の哲学」の時間を使い、模範会社「ファイブスターカンパニー」の経営として五つの系列がそれぞれに工夫を凝らした企画や販売の準備をして開催しました。フェアも、回を重ねるごとに来場者が増え、地域の活性化のために、自分たちに何が出来るか、生徒一人ひとりがしっかりと考えながら、体験を通して力をつけていることを実感しました。

「地域創生」を実現するために、大田市でも「まち・ひと・しごと総合戦略」が十月に策定されました。総合学科での学びが、地域の活性化につながるよう、私たちはさらに充実した教育活動の実施で、魅力ある邇摩高校を目指します。保護者の皆様には引き続きのご支援をお願いして、ごあいさついたします。



卒業生保護者より

テーマ「贈る言葉」

河野 勇治

卒業おめでとう。

瀧摩高校に入学してアツという間の三年間でした。子供も紆余曲折しながらも高校を卒業していきます。色々あった学校生活でしたが、友達に恵まれ、充実した三年間ではなかったのかな？と思っています。

四月からは新社会人として、今は期待と不安の入り混じった心境ではないかと思いますが、この三年間で培った一生懸命やる事の大切さを、新たな環境でも発揮してほしいと思います。ガンバレ！

また、ご指導頂いた諸先生方、三年間お世話になり、本当に有難うございました。

石田 さゆり

卒業おめでとう。

この三年間、何事も一生懸命頑張り充実した高校生活を送れていたと思います。

二年生の時、度重なる怪我で大好きな野球ができない時があり、悔しい思いもしましたね。でも、最後の大会では、自分の力を十分に発揮できたのではないのでしょうか。最後まで諦めず、粘り強く戦った瀧摩高校球にとても感動しました。

四月からは、社会人になり新たな地での生活が始まります。不安の方が大きいと思いますが、自分に自信を持ち頑張ってください。応援しています。

落合 美樹

三年間たった一人の部員でも辞めずに続けた弓道部、大切な父親の死、自ら手を挙げ、走りきったしおかげ駅伝。どれもこれもあなたにとって貴重な経験となったはずです。社会に出ると学生時代とは次元の違う理不尽な出来事が起こります。でも、この経験があるからこれからどんな苦しいこと・我慢ならぬことにぶつかっても乗り越えられるはずです。それでもつらい時・悲しい時には私が、家族が、共に泣いてくれる友だちがついていきます。あなたに乗り越えられない壁はない、邁進あるのみ！

卒業生より



前生徒会長 今井 ステファニー

高校生活三年間私にとって、とても濃い時間でした。日々を過ごす中で悩むこともたくさんありました。けれど、家族や友人、先生方が支えてくださったおかげで最後まで頑張ることができたと感じています。これからは、友人と離ればなれになり新しい道を歩むことになりそうです。とても不安ですが、瀧摩高校で学んだこと、たくさんの人に支えられていることを忘れずに、また春から頑張っていきたいと思っています。

最後の学生生活を瀧摩高校で終わられて良かったです。三年間ありがとうございました。

三年一組 才光 陸生

この三年間は、初めての事はかりでした。特に、二年生の後半からは、フェアで自分達で売物を考えたり、値段を決めて、そこ

から利益を出したりするのが初めてで、とても大変でした。でも、それは、みんなと協力し合ったり、アイデアを出し合ったりして、自分達が作った商品がおいしくできて、完売した時は、すごく達成感がありました。

一、二年生のみなさんも、自分達のように、たくさん話し合いをして意見を出し合い、みんなが喜ぶような企画を作ってください。みんなが楽しめるように頑張ってください。

三年二組 吉岡 春菜

私は、被服コースに惹かれて瀧摩高校に入学しました。浴衣やジャケットの検定やドレス製作を指導してくださった先生方や友達と過ごした時間は私にとって、かけがえのないものになりました。そして、何よりも客室乗務員という無謀な夢を叶える為に諦めずに進学する道に対して、背中を押して応援してくださったことに本当に感謝しています。卒業後は、英語を勉強し就職出来るように頑張ります。

在校生の皆さん、高校三年間は本当にあっという間で私は、もっと早く進路に向けて行動すれば良かったと思うので、悔いの残らないように楽しんで充実した高校生活を送ってください。ありがとうございます。

三年三組 横田 亜弥

私は、瀧摩高校に入学したのが、この前と感ずるくらい、三年間があつという間でした。入学したての頃は、何もかも新しく不安でしたが、今では瀧摩高校で良かったと思えるほど充実した生活でした。なぜなら、自分の好きなことが学べたことはもちろんですが、

何より先生や生徒のみんなが温かかったからです。自分より生徒のことを考えてくださる先生、普段一緒にいる仲良し同士でなくても気遣って生活するクラスの人たちに出会えて本当に良かったと思います。

後輩のみなさん、三年間はすぐなので先生や友達を大切にしてください。

教職員より

「時を守り、場を清め、礼を正す」

三年学年主任 萬治 正



タイトルは教育学者である森信三氏が提唱した「職場再建の三原則」の言葉です。

社会に出て生活していくうえで、の基盤となる大切なことを示しています。三年生の最終学年目標としてこの言葉を掲げましたが、この目標を意識した生活が送れましたか？

「時を守り」とは、限りある時間を大切にすることで「相手を尊重すること」になります。待ち合わせのときなど常に相手より先に待ち合わせ場所に行くことで、相手から信用を得ることが出来ます。また、会社の始業時間より早めに出勤し、一日の仕事の計画や昨日の振り返りができれば一日充実したものになるでしょう。

「場を清め」（掃除をすること）の意味として、「気づく人になれる」「心を磨く」「感動の心をはぐくむ」「感謝の心が芽生える」ということがあります。まず、一日一個落ちているゴミを拾うことから始めてください。そして、自分から進んで社内のトイレ掃除を

するなど気持ちの良い職場環境をつくること
ができる人間になってもらいたいと思います。
「礼を正す」とは、「挨拶と返事をする、服
装を正す、姿勢を正すということ」です。接
遇は、心を開いて相手と向かい合うというこ
とです。自分から進んで「おはようございま
す」「失礼します」「はい」など、お互いが
気持ちよくなるような挨拶や返事を心がけ人
間関係を円滑にしたいものです。時と場にふ
さわしい服装をすることや姿勢を正すことも
相手を尊重することになります。

卒業生の皆さんがこの言葉を意識してでき
ることから実践し、地域社会に貢献できる人
材として活躍することを期待しています。

「はじめての一步」



進路指導部長 田中真理子

「はじめてのおつかい」とい
う番組があります。子どもたち
が様々な困難を乗り越えてはじ
めてのおつかいを立派に成し遂
げる姿に、思わず微笑んでしまう人も多いこ
とでしょう。

さて、卒業生の皆さんは、これからいくつ
もの「はじめて」に遭遇し、精一杯格闘して、
一步一步成長をしていくことでしょうか。実は、
テレビの中では子どもたちには気付かれない
「助っ人」の存在が常にあります。ハラハラ
しながら「がんばれ！」と応援してくれる人
たちに囲まれて、時には半べそをかきながら
も最後には笑顔でゴールすることができま
す。皆さんの瀧摩高校での三年間は、この番組の
ようではなかったかと思っています。

これからは、笑顔でゴールできないことも

あるかもしれません。「助っ人」もいつもいる
とも限りません。でも、真剣に自分の一步を
踏み出す人には、きっと応援団ができるはず
です。私たちも瀧摩高校から応援しています。
輝かしい未来の「はじめて」に新しい一步を
踏み出す皆さんに、「卒業おめでとう！」

「卒業するみんなへ」

三年一組担任 小林秀光



しくあれ 僕ははしゃがみ
込む度にそう そこに咲く
花を知る♪ (『歩み』
RAMBLER)

君(自分)らしくって難し
いです。自分らしきとは、自分を信じるこ
と

自分を好きになることだと思います。これか
ら続く道は決して平坦な道ではありません。
何度躓き転んでも、ただでは起きず、その手
で何かを掴んで、何度でも立ち上がってくだ
さい。君たちにはその力は十分備わっていま
す。

さあ、もうすぐ号砲が鳴ります。自分らし
く、その大きな一步を踏み出してください。
卒業おめでとう、そして、ありがとう。

「自分の人生を生きよう」

三年二組担任 坂井 智子



担任としてみんなと過こし
た二年間は掛けがえのない
時間です。みんなは「やる時
はやる」集団で、一致団結し
た時のパワーたるや本当に
素晴らしいものがあり、担任として誇らしく

感じたことは何度もありました。人との出逢
いは多くの奇跡を生み出してくれました。新し
い場所での出逢いを糧に、さらに自分の可能
性を大きく羽ばたかせて下さい。私はみんな
にとって間違いなくうるさい担任だったと思
いますが、みなさんの新しいステージでの成
功を祈る思いは誰よりも強いと自負していま
す。人に流されない、自分らしい人生を懸命
に歩んで下さい。また逢いましょう。

「卒業おめでとう」

三年三組担任 松尾 甲



「卒業 本当におめでとう
ございます。また、保護者の
皆様には三年間多方面にわ
たり御支援・御協力いただき
ましたこと、深く感謝申し上
げます。一年生の時から担任を務め、三年間
を通してみんなの成長過程や笑顔を間近で見
られたことを嬉しく思います。振り返ると、
私自身の方が君たちから元氣やパワーをもら
っていたように思います。高校生活での知
識・技術・経験を糧に、ぜひこれからの人生
に活かしてください。

卒業後は、自分の「夢」や「希望」を叶え
るためにそれぞれが努力する日が続くと思
います。頑張りすぎには要注意！途中でしっか
り給水 point をとって、休憩しながら前へ進
んでください。困
った時には、周りを
頼って助言を受けて
ください。あなたの
応援団はたくさんい
ますよ！



後期の出来事

○校内ロードレース大会(十一月五日) 男子
10・0 km、女子8・0 kmを颯爽と走りぬきま
した。

○文化祭(十一月二十日・二十一日)「楽・笑・
絆」112 摩高(いにまこ)文化祭「
をテーマに、オープニングセレモニー、講演
会、ファッションショー、展示・体験、模擬
店と盛りだくさんの企画が行われました。本
年度は一日目のオープニングに「Kotonoha」
の二人を招きライブを行い、大変盛り上がり
ました。

○家庭クラブケーキコンテスト(十二月九日)
本年度も趣向を凝らした作品が数多く並びま
した。

○第二回球技大会開催(十二月十七日) 男子
はフットサル、女子はフットサルとバドミン
トンが体育館で行われました。

○課題研究発表会(一月二十一日) 各系列か
ら選ばれた代表の三年生が大田市民会館で発
表しました。二年生によるインターンシップ
報告や展示もありました。

生徒会より

生徒会長 大谷 純生

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうござ
います。

この度、生徒会長になりました。二年一組
の大谷純生です。
瀧摩高校を支えながら、盛り上げていく立
場は、正直不安に思う部分もありますが、し
っかりと責任を持ち行動したいと考えていま

す。また、たくさんの方との交流を大切にしたいこうと思います。大きな壁に当たった時は、その問題を真摯に受け止め、周りのサポートを受けながら最善の策を見つけ出したいと思えます。残りの高校生活を有意義に過ごし、その中で人生の糧になる様な時間を作っていきたいと思えます。これからも、たくさん迷惑をかけると思いますが、全力で楽しく生活していきたいです。



後期部活動報告

- 弓道
 - 県選手権
 - 男子団体A 36射13中(予選敗退)
 - 女子団体A 36射15中(団体7位)
 - 中国新人
 - 女子団体 24射8中(予選敗退)
 - 男子バスケット
 - 県選手権 遼摩29-103 益田
 - 女子バスケット
 - 県選手権 遼摩32-103 大社
 - 県新人戦 遼摩17-113 松江北
 - バレーボール
 - 県選手権 遼摩0-2 益田東
 - 県新人戦 遼摩0-2 松江市立女子
 - 男子ソフトテニス
 - 新人戦 団体1回戦 遼摩1-2 松商
 - 女子ソフトテニス
 - 県新人戦 団体1回戦 遼摩0-3 情科

- 卓球
 - 県選手権
 - 男女ダブルス 1回戦敗退
 - 男女シングルス 1回戦敗退
 - 県新人戦
 - 女子団体2回戦 遼摩0-3 出雲西
 - 男女シングルス 森山3回戦進出
- バドミントン
 - 県新人大会
 - 団体 男子1回戦 遼摩1-3 松江高専
 - 女子1回戦 遼摩0-3 隠岐
 - 個人
 - 男子S 大谷ベスト32
 - 男子D 大谷吉井ベスト32
 - 女子S 嘉戸ベスト32
 - 女子D 加藤大野組ベスト32
- 野球
 - 秋季野球大会 二回戦 1-3 益田東
 - 平成27年度石見地区高等学校
 - 一年生野球大会 一回戦 5-4 益田東B
 - 二回戦 0-7 島根中央
 - 柔道
 - 県新人戦 男子団体5位(中国新人出場)
 - 男子個人 中町3位 川上5位
 - 女子個人 勝部 優勝
 - 中国新人戦 男子団体(予選1勝2敗)
 - 県選手権 男子団体 5位
 - 男子個人 中町5位 足立5位
 - 川上5位 石田5位
 - 女子個人 勝部準優勝
 - 吹奏楽
 - 全日本吹奏楽コンクール島根県大会
 - 高校小編成の部 銀賞
 - 写真
 - 秋季写真コンクール 特選
 - 竹下未夢・松尾佳奈・恒松和佳奈
 - 井上美咲・嘉戸真琴・石橋知果
 - 堂前まひろ

- 島根県高等学校写真展 入選17点
- 書道
 - 県書道コンクール
 - 特選 波多野早南・宅和菜々・山内美空
 - 秀作 平田朱音・中倉楓・山下真帆
 - 佳作 公田咲里
 - 県書道展 優秀賞 中倉楓
 - 奨励賞 波多野早南
- ビジネス部
 - 中国五県高等学校商業教育実技競技大会
 - 【珠算部門】 読上暗算優勝 橋坂 唯
 - 文芸部
 - 文芸専門部県コンクール
 - 俳句部門 優秀作2位 清水春花
 - 優良作 嶋林 彩
 - 佳作 熊野御堂風華
 - 短歌部門 佳作 宮脇美晴
 - 文芸道場中国ブロック大会
 - 詩部門 最優秀賞 熊野御堂風華
 - 農業クラブ
 - 意見発表県大会
 - 食料・生産区分 優秀賞 岡田華澄
 - 環境区分 優秀賞 鉦智恵美
 - 文化・生活区分 優秀賞 松原励
 - プロジェクト発表県大会 食料・生産区分
 - 優秀賞 河野佑介・中川和明
 - 鑑定競技大会
 - 農業区分 優秀賞 和田雅也
 - 家畜審査 優秀賞
 - 松原励 長尾拓弥 野木陸斗

- 英語科
 - 英語検定 準2級1名、3級4名
- 家庭科
 - 食物調理検定
 - 1級6名、2級16名
 - 被服製作検定
 - 和2級6名、洋2級6名
 - 和1級3名、洋1級4名
 - 保育検定
 - 造形表現技術1級8名
 - 言語表現技術1級8名
 - 家庭看護技術1級7名
 - 音楽リズム1級2名
- ビジネス系列
 - 全商珠算・電卓実務検定
 - 電卓1級10名
 - 1級普通計算5名(電卓)
 - 電卓2級10名
 - 全商簿記実務検定
 - 1級2名、1級原価計算2名
 - 全商情報処理検定
 - プログラミング
 - 1級1名、2級1名
 - ビジネス情報
 - 1級1名、2級1名
 - 全商ビジネス文書実務検定
 - 1級2名、2級20名、3級41名
- 農業系列
 - 乙種危険物取扱者 4類2名
- 福祉系列
 - 介護職員初任者研修課程 8名
 - 認知症サポーター 8名
 - あいさポーター 7名
 - 普通救命講習Ⅰ 8名

